

講習会：長周期地震動と超高層建物の対応策

—専門家として知っておきたいこと

主催 日本建築学会 構造委員会 長周期地震対策刊行小委員会

後援 (予定) 開催地都道府県建築士会、開催地都道府県建築士事務所協会、日本建設業連合会、日本建築家協会、日本建築構造技術者協会、日本建築士会連合会、日本建築士事務所協会連合会、日本地震工学会、日本免震構造協会

主旨 2011年3月11日東北地方太平洋沖地震では、首都圏の超高層建物は10分間を上回る長い時間、ゆっくりとした大きな振幅で揺れ続けた。今後、発生が懸念される東海・東南海・南海地震等の海溝型巨大地震により東京・大阪・名古屋に建つ超高層建物は、この揺れを上回る大きな振幅で長時間揺れ続けることが想定される。

日本建築学会の長周期地震動への対応は、2003年の十勝沖地震を契機に始まり、その成果は「海溝型巨大地震による長周期地震動と土木・建築構造物の耐震性向上に関する共同提言」(2006.11)、「長周期地震動と建築物の耐震性」(2007.12)として刊行された。2007年度からは4年間にわたり、内閣府から「長周期地震動対策に関する調査」を受託し、東海・東南海・南海地震の三連動地震に対する超高層建物の長周期地震動対策の総まとめを報告した。また、東北地方太平洋沖地震を受けて、被害や体験に基づく様々なデータを整理・分析し、想定される東海・東南海・南海地震の三連動地震に向けた対応策の検証と課題を明らかにしてきた。

本講習会では、超高層建物に対する長周期地震動対策の総まとめと、東日本大震災の被災調査による教訓を講習するものである。本講習会が地震被害低減の一助となるよう多くの方が受講されることを期待する。

参加費 (テキスト代含む)

1 ー日本建築学会会員	11,000 円
2 ー後援団体会員	13,000 円
3 ー上記以外	16,000 円

テキスト 『長周期地震動と超高層建物の対応策—専門家として知っておきたいこと』 (B5判、500ページ)

申込方法* 下記いずれかの方法でお申し込みください。お電話での申込みは受け付けておりません。

①参加申込書(郵送)による申込み：参加費をお支払いのうえ、必要事項を明記した参加申込書(裏面)と参加券送付用封筒(80円切手貼付、宛名記入)を同封してお申し込みください。

②WEBからの申込み：日本建築学会ホームページ「催し物・公募」からお申し込みください(参加申込書と参加券送付用封筒の郵送は不要)。<http://www.aij.or.jp/>

プログラム 13:00~13:20 趣旨説明

13:20~14:10 東北地方太平洋沖地震の観測波と南海トラフ沿い巨大地震の予測波

14:10~15:00 超高層建物と長周期地震動/超高層ビルの制振補強対策とその効果/地震後の超高層建物の早期復旧に向けて

15:00~15:20 (休憩)

15:20~16:10 超高層ビルにおける非構造部材・設備機器等の性能評価/超高層建物の家具被害と室内安全性評価

16:10~17:00 被災に伴い起こりうる事態の明確化/社会への啓発

開催地・講師

※講師は都合により変更することがあります。

		13:00~13:20	13:20~14:10	14:10~15:10	休憩	
東京	2013年 10月25日(金)	田村和夫 (千葉工業大学)	永野正行 (東京理科大学)	小鹿紀英 (㈱小堀鐸二研究所)	金子美香 (清水建設㈱)	福井 潔 (㈱日建設計)
名古屋	11月1日(金)	永野正行 (前掲)	永野正行 (前掲)	木村雄一 (大成建設㈱)	斉藤大樹 (豊橋技術科学大学)	福井 潔 (前掲)
大阪	11月15日(金)	北村春幸 (前掲)	吉村智昭 (大阪大学)	勝俣英雄 (㈱大林組)	東野雅彦 (㈱竹中工務店)	福井 潔 (前掲)

期日・会場・定員・申込方法・申込先・参加費支払方法

開催地	期 日	会 場	定員	申込方法	申 込 先	参加費支払方法
東京	10月25日(金)	建築会館ホール (東京都港区芝5-26-20)	220名	① ②	日本建築学会 講習会「長周期地震動と超高層建物」係 〒108-8414 東京都港区芝5-26-20 TEL 03-3456-2057 ② https://www.aij.or.jp/index/?se=sho&id=577	○銀行振込 ・三菱東京UFJ銀行京橋支店 普通預金口座 2318455 シヤ)ニホンケンチクガツカイ ○現金書留 ○クレジットカード決済 ※領収書は原則、カード会社発行の「利用明細書」をもって代えさせていただきますが、必要な方は左記講習会係へご連絡ください。
名古屋	11月1日(金)	昭和ビル9階ホール (名古屋市中区栄4-3-26)	150名	①	日本建築学会 東海支部 講習会「長周期地震動と超高層建物」係 〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26 昭和ビル5階 TEL052-243-6244	○銀行振込 ・三菱東京UFJ銀行栄町支店 普通預金口座 0301491 シヤ)ニホンケンチクガツカイ トウカイシブ
大阪	11月15日(金)	大阪府建築健康会館 6階ホール (大阪市中央区和泉町2-1-11)	150名	①	日本建築学会 近畿支部 講習会「長周期地震動と超高層建物」係 〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター内 TEL 06-6443-0538	○銀行振込 ・三井住友銀行大阪本店営業部 普通預金口座 4481226 ・ゆうちょ銀行 418店 同行からの振込 14100-90203811 他行からの振込 (普)418-9020381 シヤ)ニホンケンチクガツカイキンキシブ

東京会場は定員に達したため、受付を終了しました。名古屋会場、大阪会場へのご参加をお願いします。

講習会参加申込書

講習会名・会場	講習会：長周期地震動と超高層建物の対応策－専門家として知っておきたいこと (会場)			
参加者*1	フリガナ		会員番号	
	氏名			
会員区分*3	<input type="checkbox"/> 日本建築学会会員 (個人会員/法人会員・賛助会員*2) <input type="checkbox"/> 後援団体会員 (団体名・No. 等) <input type="checkbox"/> 上記以外			
勤務先名		所属部署		
所在地	〒			
電話		FAX		
E-mail				
参加費	円 (支払方法は、会場によって異なりますのでご注意ください)			
支払方法・申込方法*3*4	<input type="checkbox"/> 銀行振込： 指定口座に入金のうえ、申込書 (振込銀行欄記入または振込明細書コピー貼付) と参加券送付用封筒 (80円切手貼付、宛名記入) を同封し、お申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。 <input type="checkbox"/> 現金書留： 本申込書と参加券送付用封筒 (80円切手貼付、宛名記入) を同封し、参加費を添えてお申し込みください。折り返し、参加券と領収書をお送りします。			
振込元銀行 (右欄記入の代わりに、振込明細書コピーを貼付いただいても結構です)	銀行名・支店名	銀行	支店	
	ご依頼者(社)名			
	振込日	年	月	日
	振込金額	円 (他と合算送金の場合は、通信欄へ内訳をご記入ください)		
関連催し物のご案内	<input type="checkbox"/> 今後、関連する講習会等催し物の案内を希望しない。 (今後、関連する講習会等催し物のご案内をお送りします。希望されない方は、□に✓を記入してください)			

*1：同一組織での複数名によるお申し込みの際は、参加者全員の①氏名(フリガナ)、②会員番号、③会員区分を通信欄にご記入いただければ、申込書は1枚で結構です。
 *2：法人会員・賛助会員は、1口につき5名を会員扱いとします。
 *3：該当区分の□に✓を記入してください。
 *4：参加費の払い戻しはいたしません。なお、振込手数料は申込者にてご負担ください。

通信欄